

春のバスハイク「世界遺産を見に行こう」1面のつづき



バス5台、乗り間違いのないように



富士山をバックに記念撮影



茅葺き屋根の民家が並ぶいやしの里



五月晴れのさわやかな風のなか散策

まずはビジターセンターで全体会を行い、バスで富士山5合目へ。スバルラインを走り1合目、2合目と上がっていくうちにだんだん雪が見えはじめました。自転車で乗って富士山に登っていく人たちがたくさんいました。

5合目に到着すると、突き抜けるような青空の中、周囲の景色を堪能しました。

「富士山5合目、さわやかな風の中、きれいでした「空気が澄んでいてよかったです」スバルラインを下り、今度は温泉と散策に分かれました。河口湖温泉と西湖いやしの里根場です。いやしの里はかつて茅葺きの集落を移築した地区です。ここからも見事な富士山が見えました。

「母の日とかさなり忘れられない楽しい思い出となりまし「ずっとずっと消えること

のない心の写真となりました」最後は、河口湖畔でお買い物し、帰路につきました。高速道路の渋滞もあり、予定より大幅に遅れての到着となりました。参加された皆さんからたくさん感想、俳句などを寄せていただきました。その一部をご紹介します。

雪被る 霊峰富士に 心ふるわす
その日迎えて 喜寿のよろこび

みごとだね 母の日に見た 富士の山
日本の誇り 世界の誇り

五月晴れ 富士も笑顔で 顔を出し
青空に 綿帽子被る 富士の山

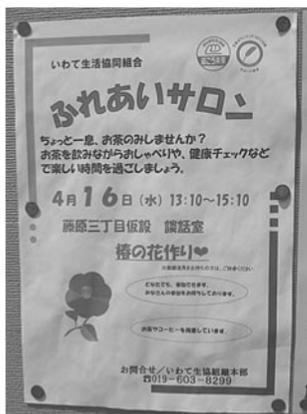
黄緑の もみじ街道 いやされる
バスを待つ 足下餌探す 雀達

新緑に 心洗われ 富士の旅



みんなで手芸をやりました

おしゃべりや手芸、軽い運動などをして楽しく過ごします。沿岸地域の仮設住宅集会所などで、月1〜2回、定期開催されています。



お知らせのポスター

被災地へ「ふれあいサロン」活動で復興支援

4月16日(水)、岩手県宮古市へ、いわて生協が主催する復興支援ボランティアに、生協本部事務局の野口と伊藤が参加しました。これはいわて生協が実施している活動に、医療福祉生協として東京や神奈川から支援に入るといふものです。

は藤原仮設住宅におじゃまし、被災者の方とお話をしたり、手芸でプロチづくりと一緒に挑戦したり、健康体操をしました。仮設住宅に住んでいる方の中には、仮設での暮らしも3年目となり、引きこもりなどの問題もでてきており、集まりに参加できない方もいるとのことでした。「いろんな方が来てくれるから元気が出る。また来てください」と地元の人。これから被災地の1日も早い復興を願っていると思います。

(生協本部・伊藤 豪)

「社会保障解体」にむけた医療・介護保険改悪が目の前に

城南福祉医療協会 為壮 稔

国会審議に杵をはめる与党の横暴ぶり

本紙5月号に、今国会で審議されている「医療・介護総合法案」の改悪内容のポイントを紹介しましたが、自・公与党から衆議院での審議は6回で終了

消費税は「すべて社会保障に」の大ウソ

大田病院にも内閣府から「消費税は社会保障の充実に使われます」という大判のポスターが送りつけられました。増税分5兆円の使途の8割以上を占めるのが「年金国庫負担分2分の1

なぜ、こうした「社会保障解体」の道に突き進むのか

この背景には、憲法25条で保障された「人権としての社会保障」の基本的な考え方を変質させたことがあります。2012年8月に当時の与党民主党和自民党・公明党が「談合」を行い「社会保障改革推進法」が强行されました、この法律で、国や地方自治体が社会保障給付の財源を削減するために、これからの社会保障の考え方を「自助・共助」(自己責任)を基本とすることに切り替えました。まさに、憲法25条の解釈改憲といっ

一般財源でまかなっている部分を消費税に置き換えただけで、社会保障の充実に1割(5000億円)しか回らないことは

厚労省も認めています。こんな「ゴマカシ」にだまされるわけにはいきません。

てよいでしょう。同時に、社会保障の財源は「社会保障料と消費税」でまかなうことを決めました。「保険料が払えなければサービスは受けられない」「社会保障を充実したければ消費税を上げますよ」と、国民に選択を迫る酷いやり方です。

昨年の臨時国会で「プログラム法案」が强行されましたが、今審議されている医療・介護法案が決まれば、次の国会では、「国民健康保険の都道府県一本化」「紹介状のない大病院の外

社会保障解体をゆるさない たたかいても拡がっています

4月24日(木)には、全国から5000人が参加し、社会保障の解体を許さず、充実を求める集会



に、年金改悪、こども子育て関連法の改悪なども次々と出てくる計画になっています。

会と国会包囲の行動(輝けいのち4・24ヒューマンチェーン)がとりくまれました。

全国各地で「医療・介護総合法案」の学習会が開催され、内容を知らされた国民の反対の声が拡がっています。集団的自衛権容認反対、TPP反対、原発ゼロなどの運動と社会保障を守る運動が、合流する動きもはじまりました。大田でも5月に大規模パレードが計画されています。暴走政治にストップをかけるのは国民の運動と声です。がんばりましょう。



「輝けいのち」のプレートを掲げる5000人の参加者(4・24ヒューマンチェーン)